

## 第1学年〇組 道徳科学習指導案

1 主題名 公共の精神とは

内容項目 【C 社会参画、公共の精神】

2 ねらい 主人公の悩みをもとに、図書館がかかえる問題を話し合う中で、公共の精神についての理解を深め、よりよい社会の実現に努めようとする意欲を高める。

教材名 「本が泣いています」(出典「新しい道徳1」 東京書籍)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

公共の施設の在り方や利用の仕方について、自らもそれに関わる者の一人であるという自覚をもとにして主体的に考える態度は、「社会参画の意識」や「社会連帯の自覚」、「公共の精神をもってよりよい社会の実現に努める態度」の基盤となる。

教材が示す図書館の事例に基づき、図書館の望ましい在り方や利用の仕方について考えることを通して、公共の精神をもってより良い社会の実現に努める意欲を育てたい。

(2) これまでの学習状況及び生徒の実態について

小学校の段階では、特に高学年で社会に奉仕することの意義を理解し、公共のために役立つことをしようという意欲や態度をもつよう指導している。本学級の生徒は、幼さがあり自己中心的な言動をとることもあるが、よりよい公共の場を実現したいという純粋な思いがしっかりとある。3days チャレンジの取り組みを通して社会とのつながりを学習してきた。このことを踏まえながら、公共の施設の在り方やその利用の仕方を自分のこととして考え、より良い社会の実現に努める意欲を引き出したい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、ある市立図書館に司書として勤務する主人公が、図書館の本が傷つけられたり、持ち去られたりする問題に苦悩する姿を描いたもので、実話に基づいている。主人公は、本や図書館、ひいては利用者の利益を守るために利用者の行動を監視したり管理したりしなければならないことに思い悩んでおり、規制の少ない、より便利で自由な図書館を実現したいと願っている。本教材が描くような「公共の精神」が問われる経験に、生徒もまた幾度となく直面しているはずである。そうした経験を想起しながら主人公の思いや行動について考えることで、自らもまた「公共の精神」に関わる問題の当事者の一人であると、自覚するように促し、「公共の精神」の理解と「公共の精神」に関わる思考を深めていきたい。

4 学習指導過程

段階	学習活動(主な発問)	予想される生徒の反応	指導上の留意点 ☆評価の視点
導入 5分	<p>1 公共の場について考える 「公共の場」として思い浮かぶ場所はどこですか</p> <p>2、事前アンケートについて 「どのような場面で公共のマナーについて意識しますか」 「困ったことはありますか」</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共のマナーについて考えるきっかけを与えられるよう、話をする。</li> <li>・3days の体験を振り返る。</li> <li>・教材の内容に興味関心をもたせる。</li> </ul>
展開 40分	<p>3 資料を読んで話し合う</p> <p>(1) 教材を範読する。</p> <p>(2) 「本を守るための図書館側の取組」をどう思いますか。</p> <p>(3) 「本が泣いています」というメッセージには、岩井さんのどのような願いが込められていますか。</p> <p>(4) これらの取組を通して、図書館の利用が本当に良くなると思いますか。なぜそう考えるのですか。</p>	<p><b>職員の立場</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のマナーが悪いせい。</li> <li>・管理や監視は当然。</li> <li>・本を守るためには仕方ない。</li> </ul> <p><b>利用者の立場</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の人々のせいで図書館が不便になるのはおかしい。</li> <li>・現状では不便でも仕方ない。</li> <li>・心の痛みを感じて欲しい。</li> <li>・マナーを守り、本を大切にしたい。</li> <li>・監視や管理を強めたくない。</li> <li>・みんなが自由に使える図書館にしたい。</li> <li>・多くの利用者があるので、色々な取組をしても、正直変わらないのではないか。</li> <li>・何もやらないよりはまし。少しは良くなるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の職員か利用者のどちらかの立場に立って考えさせる。</li> <li>・制約や管理の強化が最善の解決策ではなく、図書館がもっと自由な場であって欲しいという両者の思いに気付かせる。</li> <li>・マナーを守ってほしいという思いだけでなく、図書館をより良い場所にしたい、自由に利用できる場にしたいという思いがあることに気付かせたい。</li> <li>・子どもたちの心の中で葛藤が生まれるようにしたい。</li> <li>・心情円を使って自分の考えを表す。</li> <li>・隣の人と意見を交換し合ったり、心情円を周りに見せ、意見を共有し合う。</li> </ul>

	<p>(5) 制約なく自由に利用できる図書館にするためには、利用者はどのようにすることが大切だろう。</p> <p>(補助発問)</p> <p>みんなが使いやすくするためにはどうしたら良いのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりがマナーを守る。</li> <li>・職員の思いを知り、協力する。</li> <li>・利用者も図書館のことを考えるべきだ。</li> <li>・「図書館はみんなのもの」という意識を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで話し合い、ホワイトボードに意見を書き出す。</li> <li>・自分も図書館という公共の場の在り方に関わる者の一人だという自覚を促し、自分事として考える態度(社会参画の意識)につなげたい。</li> <li>・ただルールを守るだけではなく、みんなが使いやすくするためにはどのようにしたらよいかを考え深めさせたい。</li> <li>・補助発問を通して公共の精神について深める。</li> </ul>
<p>終末5分</p>	<p>4 これまでの自分の生活を振り返り、これからはどうしていくかを考える</p> <p>5 教師の説話</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの生活を振り返り、どのようにこれからの生活につなげていくかを考えさせたい。</li> <li>・より良い社会の実現に努めようとする意欲を引き出したい。</li> </ul>

## 5 評価の視点




【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・図書館での事例を通して、公共のマナーについてグループで話し合い、考えを深めている。

【道徳的価値についての理解を自分との関りで深めている様子】

- ・自分自身も公共の施設に関わる者の一人であるということに気づき、これからの生き方につなげている。

## 6 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; height: 100px; margin: 5px;">ホワイトボード</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; height: 100px; margin: 5px;">ホワイトボード</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; height: 100px; margin: 5px;">ホワイトボード</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; height: 100px; margin: 5px;">ホワイトボード</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; height: 100px; margin: 5px;">ホワイトボード</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; height: 100px; margin: 5px;">ホワイトボード</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; height: 100px; margin: 5px;">ホワイトボード</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; height: 100px; margin: 5px;">ホワイトボード</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; height: 100px; margin: 5px;">ホワイトボード</div>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">利用者が心がけるべきことは</p>		<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">図書館の立場</p>		<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">「本が泣いています」</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">利用者の立場</p>	
---	---	---	--	--	---	---	---	---	---